

CJ-U Coupe du Japon 勢和多気国際クロスカントリー大会

BRIDGESTONE ANCHOR CYCLING TEAM 平野 星矢

結果 2位

開催日 10月4日(日)

開催地 三重県多気町 勢和の森マウンテンバイクパーク

天候 晴れ

コースプロフィール / コンディション

コースは長い上りが少なく、短い上りや下り・細かいバンクやセクションが多い印象のコース。比較的コンパクトな印象のコースで、上手くりズムを合わせれば、ある程度体力を温存して走れる印象。周回数は6周回。

・レポート

手術後からの1ヶ月間の完全休養を終え、自転車解禁から1週間後のこのレース。

まだ追い込みも入れてないので、とりあえず走るだけのレースと言ったところ。

レースをした方がレースへの復帰も早く楽に出来るので、11月のUCIレースに向けてのリハビリテーションだ。



写真提供:伊東秀洋さん

スタートは抑えて踏まないように、そして他の選手の邪魔をしないように走って行く。
今回はまだ勝負に関わるつもりも無いので、勝負を賭けて走る選手の邪魔をしたくない。特にチームメイトの邪魔はしたくない。



写真提供:伊東秀洋さん

あくまでレース復帰の為のリハビリという位置付けなので、スタートで踏み過ぎないように、且つ邪魔をしないように、且つ不安定な危険要素が前に入らないように、調整して走って行く。



写真提供: 伊東秀洋さん

2周目に入る直線で、前にまだ先頭集団が見える。あれ？ 案外前とは離れていない。
あれ？ これ行けんじゃないかと勘違いしてしまいそうだが、いきなり踏むと身体がビクッリして後々に調子を落とすので、あくまでマイペースで淡々とペースを保つ。

2周目の上りから、前方の先頭集団から ちらほら選手が振ってくる。
そして2つ目の上りに入る所で、前に時くんの姿が…。あ…。パンク…。
何だか悲しい気持ちになりながらも、何と声をかけて良いのやら…。
ただ見送る事しか出来ない。

この気持ちを例えるなら、
パイレーツオブカリビアン第3作の場面で、世界の果てからジャック船長を助け、ブラックパール号に乗り世界の果てからこの世へと戻る途上の海上で、エリザベスの父(ウェザビー・スワン)が小舟に乗りあの世へと向かって行く魂と遭遇するのだが、エリザベスはブラックパール号の船上から何も出来ずに、あの世へと向かう父をただ見送る事しか出来ない。の場面のエリザベスの気持ちに近い。

そして次には亮さんの姿が見え…。え？ まさか…。亮さんもパンク…。
さすがに自分も何か出来ないかと思い、「亮さんホイール使いますか？」と聞くと、
亮さんの応えは「いや。いい…」(要らないよの意味で)

まあ、自分の立場でもそう言うだろうが、何だかもの凄く申し訳ない気持になる。

気まずい気持から逃れるように、その場を去って行くものの、何だかそれはそれで後ろ髪を引かれる思いだ。

これで良かったのだろうか？ 有無を言わず渡すべきだったのだろうか？ これはチーム的に良かったのだろうか？ と下りのシングルで自問自答しながらも、今さら戻る事も出来ず、先へと進んで行く。

そして前方に門田さんの姿が見える。

この感じだと追い付けそうだが、まだ復帰直後なのでバトル・勝負をするような踏み方をしたく無い。しかし、チームメイトがパンクで全滅をしまっているだけに、自分が戦わない訳にも行かないというような、義務感のような罪悪感のようなものが入り交じり複雑な気持だ。気軽な気持で参加していただけに、何だか突然荷が重くなってきた…。

でも避けて通る訳にも行かないし、色んなポイントも関わって来るので、やはり避ける訳には行かない。

しかしまだ復帰直後という事もあるので、勝つとか負けるとかよりも、とにかく自分のペースで1番早くゴールできる走りをすれば良いんだ。うん。そうだ！と自分に言い聞かせて、2周目の終わりで先頭に追い付く。

その頃には、勝敗は気にせず淡々とただ戦えば良いという気持に切り替わって肩の荷も楽になった。直後の3周目のフィードエリア…

ん？ んん？ これは…もしかしての、もしかして…

フィードでボトルを取ろうとした手を引っ込め「あ。すみません。パンクです。」と、そのままテックエリアにピットイン。危うく、そのまま行くところだった。

後方を走るチームメイトのパンクをスタッフへと伝えて、再び走り出す。

先程と比べて腰もだいたい痛くなってきている。これは空白の1ヶ月間による筋力の衰えなのだろうか？ 何はともあれ淡々と走って行くしかない。



写真提供:伊東秀洋さん

4周目。また後輪タイヤがパンクしている気がしたので、フィードで止まろうか迷ったが、タイヤは潰れてないように見えたので、ひとまずスルーした。

しばらく走ってタイヤに問題は無さそうなので、、、これはまた例のサドル割れがおきたかな?と思って
いたが、案の定レース後に確認したらサドルが割れていた。結局パンクはしていなかったので、そのまま最後まで走行。



写真提供:伊東秀洋さん

5周目。2位まで浮上。

6周目。前と20秒差と言われたが、腰痛いのでペースを上げる事もできず。



写真提供:伊東秀洋さん

瞬発的にペースを上げる事は可能だけど、持久力的なペースアップはまだ難しい。
結局2位でゴール。

今回は戦闘責任をこなせなかった事もあり、何だかチームスタッフには申し訳ない気持になった。
しかし、まだ本格的な戦闘を展開する身体と心の準備をしていなかったのが、許してほしい。さすがに
ちょっと急過ぎる。

期待感ゼロで参加しただけに、次もと欲が出てしまうところだが、
今回は結果としてチームメイトが棚から落ちた牡丹餅となってしまった事と、
次のレースに関してはノー・パンクで実力を発揮するであろう事を考慮するならば、
僕はまだ欲を出さずに、棚の牡丹餅にも期待する事なく、もう少し先の餅を自分の手で確りとこしらえ
ようと思っている。

来週は一里野大会。
まだ勝負を賭けるつもりはないが、ただチャンスあればアンカー・チームでの表彰台の独占は狙って
行こうと思っている。

使用機材

バイク ANCHOR XR9(S サイズ)
コンポーネンツ SHIMANO XTR(Di2)
ホイール SHIMANO XTR
フォーク SR SUNTOUR AXON 100mm(サンツアー) 73bal
ハンドル SHIMANO PRO タルシス XC フラットトップバーDi2 バークランプ
ステム SHIMANO PRO タルシス XC ステム 110mm -6°
シートポスト SHIMANO PRO タルシス XC シートポスト Di2

ケミカル ホルメンコール

ルーベエクストリーム(チェーンオイル)
ダートプロテクター(ギア・パーツ類 メタルパーツのコーティング用)
スポーツポリッシュ(フレーム用撥水・防汚れコーティング)
アクアスピード(フレームへのコーティング)
ノーフォグ(アイウエア曇り止め)

サングラス アディダス イーブルアイ・ハープリムプロ(調光レンズ)
ヘルメット KABUTO(OGK)ゼナード
グローブ KABUTO (OGK) EXG-3
シューズ SHIMANO SH-XC90L
ウエア Wave One

サプリメント SAVAS(明治製菓)
 SAVAS ウォーター ボトル6本
 ピットリキッド 3本
 パワーアミノ 2500 1本
 SAVAS プロ リカバリー プロテイン 1食分